

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS × KANDA

ゴール11「住み続けられるまちづくりを」

11 住み続けられるまちづくりを



多くの住居やオフィス、商業・公共施設などが集まり、政治や経済や文化の中心である都市には、現在、世界の半数以上の方が暮らしています。今後は更に増加し、2050年には約70%の人が都市で生活する

と予想されています。

都市に人口が集中することで、大気汚染や交通渋滞、住居費の高騰、ゴミ処理など様々な問題が発生します。また、都市には多くの人やインフラが集まるだけに、自然災害による被害を最小限に抑えることに加え、素早い復旧が可能なまちづくりが求められます。

多くの人が集まる都市部ならではのリスクに対応し、すべての人が安心・安全に住み続けられるようなまちづくりを計画的に進めていく必要があります。

私たちにできること

日頃からハザードマップなどを参考にして、自然災害の危険性がある場所を把握し、避難所や避難ルートを確認しておくことが重要です。また、地域で行われる防災訓練や自主防災組織に参加することも住み続けられるまちづくりに大きく貢献する取り組みです。

しかし、一概に「住み続けられるまち」と言っても、災害への備えに限らず、医療や教育、子育て環境、インフラの充実など基準は人それぞれです。例えば、日本で住みやすいと言われている都市の魅力を調べてみることで、多くの人々が住み続けられるまちづくりのヒントが見つかるかもしれません。

苅田町の取り組み

苅田町では、令和3年2月に「苅田町国土強靱化地域計画」を策定し、大規模自然災害が起こっても機能不全に陥らない、「強さ」と「しなやかさ」を兼ね備えた安全・安心な地域づくりの推進に取り組んでいます。

本計画では、大規模自然災害による多数の死傷者の発生やインフラの機能停止など、起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）を設定し、その脆弱性を評価したうえで、防災・災害情報の提供を始め、地域防災力の向上、浸水対策の推進、救急救命体制の整備など、あらゆるリスクを想定した予防策や対策の方向性を推進方針として示しています。

引き続き住民の生命及び生活を守るため、「事前防災・減災」と「迅速な復旧・復興」のための取り組みを計画的に実行し、災害に強いまちづくりを推進します。

SDGs 取り組み募集

あなたのSDGsの取り組みを広報かんだで紹介させていただきます！

- 募集内容／SDGs目標達成のための取り組み
- 対象／町内の企業、団体、個人等どなたでも
- 申込方法／苅田町HPで様式をダウンロードして、下記まで郵送またはメールで申込み（随時受付）



郵送：〒800-0392 苅田町富久町1-19-1
苅田町役場 企画課 企画推進担当

メール：kikakuseisakuka@town.kanda.lg.jp

■留意事項／簡単な取材（写真撮影含む）にご対応いただく場合があります。また、申込多数の場合は企画課にて選定させていただく場合があります。掲載号は調整のうえ、決定通知（郵送と電話）にてお知らせします。

●問／企画課 ☎093・588・1006